

# 平成23年度 学校経営の改革方針

学校名 木本高等学校（全日制）

## 目指す学校像(基本理念)

### 【地域に信頼される学校】

「時を守り 場を清め 礼を正す」の精神で

授業を大切にしている学校

掃除を大切にしている学校

挨拶を大切にしている学校

## 現状と課題

- 1 地理的な条件もあり、木本高校は他地域から流入してくる生徒が極めて少なく、入学生のほとんどが東紀州地域の熊野市及び南牟婁郡の生徒で占められています。近年、普通科の定員割れが継続しています。平成23年度入試では、総合学科も定員割れとなりました。その要因を解消すべく中学校との連携をいっそう強くする必要があります。  
また、潜在的には地元中学生の多くが木本高校への入学を希望しており、現在の学習環境やこれまでの伝統、歴史に支えられて、地域社会の後期中等教育を担う場所、地域を担う人材を育成する学校として期待されています。
- 2 地域社会の過疎化、高齢化、少子化が進展するとともに、地域経済の状況が厳しいなか、本校の存在意義が今後一層強まると思います。  
その結果、入学する生徒の興味・関心、適性・能力、将来の進路希望等の多様化が進むものと見込まれます。
- 3 本校に入学した生徒の多くは、進路や部活動に目標を見出し充実した高校生活を送っていますが、そうでない生徒も少なからずいます。このような生徒に進路意識を持たせ、明確な目標を設定させることが必要です。  
そして、生徒一人ひとりの進路希望実現のためにも、学力の向上と家庭や地域と連携した生活指導に全職員で取り組む必要があります。
- 4 平成18年3月に紀南地域高等学校再編活性化推進協議会から出された最終まとめを踏まえ、地域社会における木本高校の在り方について改めて考えるとともに、地域の小中学校との連携を深め、より一層の魅力ある高校を目指した取り組みを進めていかなければなりません。
- 5 この地域は過去に東南海地震・津波や伊勢湾台風等の大きな被害を受けています、近年東海、東南海、南海の連動地震の発生が危惧されており、学校防災について、生徒への教育、環境整備の面から一層の充実・推進に取り組めます。

## 中長期的な重点目標

- 1 生徒一人ひとりの基本的な生活・学習習慣の確立を目指し、また、規範意識を高めます。
- 2 生徒一人ひとりの学力向上を目指して、授業改善に取り組みます。
- 3 生徒一人ひとりの細やかな進路保障に努めます。
- 4 生徒一人ひとりの人権感覚を磨き、人権教育の推進に努めます。
- 5 生徒一人ひとりの豊かな心の育成や体力・健康増進のため、部活動の活性化に努めます。

## 本年度の行動計画

- |  |
|--|
| 1 生徒一人ひとりの基本的な生活・学習習慣の確立を目指し、また、規範意識を高めます。 |
|--|

### ( 教務 )

- ( 1 ) 生徒の学習習慣の実態を把握するとともに、生徒に学習習慣に対する意識を持たせます。  
( 取組状況の指標：適切かつ適量な家庭学習課題を課す等により生徒の学校外における学習時間の増加に取り組みます。 )  
( 達成状況の指標：学習アンケートの結果を指標とする。 )

### ( 生徒指導 )

- ( 1 ) 健全な学校生活を送るため、校則について考えさせるとともに、生徒自身が校則を自ら考え、遵守できるよう指導します。  
( 取組状況の指標：頭髪服装等の身だしなみの指導徹底や登下校交通安全指導等による交通安全ルール遵守の醸成に努める。 )  
( 達成状況の指標：指導件数と生徒の規範意識調査の結果を指標とする。 )

### ( 保健部 )

- ( 1 ) 生徒の心身の健康意識向上に努め、さらにそれら情報の共有化を進めます。  
( 取組状況の指標：月一回の生徒向け保健部だより、教職員向け保健部通信を発行する。 )  
( 達成状況の指標：各学年とのカウンセリング委員会、事例検討会等で情報収集を行い指標とする。 )

### ( 図書部 )

- ( 1 ) 生徒一人ひとりの心を豊にする読書活動の推進に努めます。  
( 取組状況の指標：図書館たよりを発刊するとともに、選書に関しては生徒及び教員の要望に応える。 )  
( 達成状況の指標：図書貸出し冊数及び利用者数が昨年度を上回る。 )

### ( 寄宿舎 )

- ( 1 ) 寮生の基本的な生活習慣の確立と学習時間の向上に努める。  
( 取組状況の指標：学期に1回の面談で、確認する。 )  
( 達成状況の指標：アンケートの結果を指標とする。 )
- ( 2 ) 寮生の節約に対する意識と公共性を高める。  
( 取組状況の指標：入浴の時間の短縮や使わない部屋はこまめにスイッチを切る等の指導を徹底し、日々確認する。 )  
( 達成状況の指標：光熱費等の支出の数字を指標とする。 )

( 学年団 )

( 1 ) 担任・学年団が生徒との関わりを通じて、生活・学習習慣の確立を目指す。

( 取組状況の指標 )

1 学年.....朝の読書を通じて、落ち着いた雰囲気のある学年を目指す。生徒との面談を適宜行う。保護者面談・家庭訪問の実施。学校生活全体を通じて、生徒に規則を守ることを徹底させる。

2 学年.....服装指導・携帯電話使用の注意などを学年一丸となって行うことにより、生徒が規律ある学校生活を送れるようにする。

3 学年.....身だしなみ指導を強化します。引き続き、遅刻・早退を減らし、チャイムでの着席指導を行います。

( 達成状況の指標：アンケートの結果を指標とする。 )

2 生徒一人ひとりの学力向上を目指して、授業改善に取り組みます。

( 教科指導 )

( 1 ) 本校卒業生として期待される学力を保障するため、具体的な授業改善に向けて、シラバスの効果的な活用、生徒による授業評価、授業研究を行います。

( 取組状況の指標：年 2 回の授業公開週間や授業に対するアンケート調査の実施 )

( 達成状況の指標：生徒の授業満足度 65%以上 )

3 生徒一人ひとりの細やかな進路保障に努めます。

( 教務 )

( 1 ) 生徒の進路希望にかかわる講座については、少人数でも開講できるように努めます。

( 取組状況の指標：生徒への講座説明を各教科と連携し適切に行うとともに、生徒の進路希望を的確に把握する。 )

( 達成状況の指標：少人数開講講座の数を指標とする。 )

( 進路指導部 & 学年団 )

( 1 ) 進路指導部と各学年が連携して、段階的進路意識を持たせる。

( 取組状況の指標 )

1 学年.....担任団と連携し、総合学習・産業社会と人間の時間などを利用して進路を意識させる。間違いのない文理選択とコース選択をさせるように導く。

2 学年.....個人面談を適宜行い、生徒の進路実現に対し適切な助言ができるようにする。

3 学年.....生徒に進路目標を明確にさせ、それが達成できるように努めます。

1. 生徒との面談を 2 回以上行います。

2. 面接指導を充実させます。

3. 進路指導部ときめ細やかな情報を交換し、補講の充実を図ります。

( 達成状況の指標：アンケートの結果を指標とする。 )

4 生徒一人ひとりの人権感覚を磨き、人権教育の推進に努めます。

( 人権・同和教育推進係 & 学年団 )

(1) さまざまな機会を通じて、人権教育プログラムにもとづいて人権感覚を磨きます。

(取組状況の指標：人権 LHR、校内人権フェスティバルや人権サークル活動等により人権感覚を磨き、人権を尊重する意欲や態度を育てます。)

- 1 学年.....仲間づくりのきっかけと大切さを学び、身近な人権問題と向き合う。
- 2 学年.....被差別部落問題・人種差別を学習することで差別問題の歴史の実態を知る。
- 3 学年.....社用紙、就職差別を学び、将来につながるよう主体的に行動できる人権意識を養う。

(達成状況の指標：アンケートの結果を指標とする。)

( 人権・同和教育推進係 )

(1) 教職員一人ひとりが人権教育の推進者として主体的に取り組めるように研修、提案授業等を実施する。

(取組状況の指標：教職員対象の人権学習会の実施や通信発行による周知)

(達成状況の指標：職員アンケートによる評価を指標とする。)

5 生徒一人ひとりの豊かな心の育成や体力・健康増進のため、部活動の活性化に努めます。

( 教務総務 )

(1) クラブ顧問が部活動にかかわることができる時間の確保に努めます。

(取組状況の指標：放課後の会議や委員会の精選を行う。)

(達成状況の指標：職員アンケートによる評価を指標とする。)

( 生徒指導 )

(1) 部活動の入部率80%以上を目指し、生徒の地区大会～全国大会への参加率の向上に努めます。また部活動を通して集団活動や自立心など自己意識の向上をめざします。

(取組状況の指標：定期演奏会や作品展の実施や、ボランティア活動を通じての地域行事や奉仕活動への参加)

(達成状況の指標：生徒の部活動意識調査の結果を指標とする。)

~~~~~  
本年度の行動計画をより成果のあるものとするために、情報の発信・収集に努めます。

(取組状況の指標：木高だより、学年通信などのたよりやきずなネット、ホームページを用いて情報提供に努めるとともに、生徒や保護者へのアンケートや家庭訪問、懇談会などを適宜実施します。)

(達成状況の指標：アンケートの結果を指標とする。)

地域から信頼される学校として「地元、地域を知るための学習活動」の具体化を図ります。